



# 地域実行委員会の運動進む

## 「さよなら原発 ☆全国大集会 & 大行進」

9月23日(祝)予定の、「さよなら原発☆全国大集会&大行進」は、デング熱の関係で会場がちいさくなり、主催は、さよなら原発1000万人アクションになりました。この行動に共同代表の若泉政人さんが参加し、福井地裁判決や署名運動について訴えることになりました。

**小浜市** 小浜市実行委員会では、学習や相談会を積み上げ、小学校区単位での学習会開催と過半数突破を目標に準備を進めています。

**鯖江市** 7月に実行委員会がつくられ山本共同代表を講師に学習会を開催しました。9月14日(日)には午後2時から鯖江市民活動交流センター(まなべの館隣)にて木原壮林氏(理学博士/京都市)を講師に学習会を開催します。

**越前市** 「原子力防災を考える越前市民の会」では毎月学習会を開催しています。10月4日に越前市生涯学習センターにて福井地裁判決の意義について坪田康男弁護士から話をしてもらう予定です。同会では200名の賛同人にニュースを送り、すでに400名を超える署名を集めています。

**勝山市** すでに実行委員会を作り、9月27日(土)午後7時から勉強会を開きます。会場は福祉健康センター「すこやか」。講師は坪田弁護士です。

**若狭町** 「安全なふる里を大切に作る会」が、ハガキ形式の署名用紙を6000世帯に全戸配布しています。

**美浜町** 署名用紙を3000枚配布して取り組みを進めています。

## すべての自治体に実行委員会を

越前町や池田町、おおい町や高浜町でもいま準備中です。さらに強めましょう。また、ネット署名についても準備中です。

**あわら市** 「原発を考えるあわら市民の会」は、地域の実行委員会づくり目指して、まずは署名呼びかけ人の中寫さんから話しを聞こうと、8月23日に「原発再稼働ストップ!中寫哲演さんと共に考えよう。県民署名推進の集い」を開催。坂井市民合わせて55名が参加しました。

**福井市** お寺の住職さんや教会の牧師さんなど各界の著名人を呼びかけ人にして9月16日(火)に、「キックオフ集会」を開催し、実行委員会を結成します。

**坂井市** 集会に参加した、坂井市の人たちは当日、2団体40名の賛同人で、「いらんぞ原発!坂井市民の会」を結成しました。

**敦賀市** 関係者が何度も集まり、その中で署名をすすめる実行委員会として「ふるさとと子どもの未来を考える敦賀の会」を立ち上げました。立地自治体でも集めやすい署名への工夫をし、6種類の署名用紙を作っています。署名を集める人を9月100人、10月100人、11月100人と広げていく計画に向かって奮闘中です。

**大野市** おおの9条の会の会員や、水問題に取り組んできた環境団体や福祉団体のメンバーを中心に、実行委員会結成に向け準備中です。大野市で計画されている木質バイオマス発電所についての学習を進めていくことも論議されています。

●福井県高等学校教職員組合、新日本婦人の会福井県本部、福井から原発を止める裁判の会、原発問題住民運動福井県連絡会、日本科学者会議福井支部、福井県労働組合総連合、福井県民医連なども、それぞれの組織と関係団体に働きかけて署名を大きく進める準備を進めています。(次号で紹介予定)

●原水爆禁止世界大会福井県代表団は広島の会場で署名を呼びかけ、1000名を超える署名を集めました。

福井県医療生活協同組合では、署名用紙と封筒一万枚以上作成、組合員に配布しています。

サヨナラ原発福井ネットワークでは、全国のつながりをいかしてすでに2000枚のリーフレットを広めています。再稼働阻止全国ネットワークも、署名に協力してもらうようになりました。

福井県平和センターは10月4~10日午後6時過ぎから、福井市のメトロ劇場で原発事故以降の福島の子どもたちを追ったドキュメンタリー映画「A2-B-C」を上映します。この場を、署名推進の場に位置づけています。 ※入場千円、原発反対県民会議が200円補助。

## 西川一誠福井県知事への要請署名を広げよう

# 原発の再稼働を認めないでください

「もう動かすな原発!福井県民署名」実行委員会ニュース No.3 2014.9.5

〒916-0029 鯖江市北野2丁目14-21-2 ZIBAグリーンパワー「北野アートセンター」内

<http://fukuikenminsyomei.web.fc2.com>